

在日米国大使館

特命全権大使 ラーム・エマニュエル 閣下

抗議文

貴国がネバダ州の核実験場において、5月14日に臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

貴国が臨界前核実験を行ったことは今後も核兵器を保有し続ける意志の表れと受け止めざるを得ません。このことは昨年5月のG7広島サミットにおいて、G7各国首脳とともに、「広島ビジョン」を発表し、世界に向けて発信した貴国のメッセージに逆行し、世界の平和と安全を脅かすものであります。

私たち帯広市民は、核兵器のない真の世界平和の実現に向けて、貴国が核軍縮に取り組み、再度の核実験及び核兵器の維持存続や開発につながるすべての行為を行わないよう強く求めます。

上記抗議内容について、本国へ伝達されるようお願いいたします。

2024年5月23日

帯広市長 米沢 則寿

